学校番号	１００１

令和８年度　看護科

教科	看護	科目	疾病の成り立ちと回復の促進	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、看護や病気に関する基本的な知識を学習する。
・各自でノートを用意すること。
・講義だけでなく、視聴覚教材を用い、現代の医療における現状や課題について自分の意見をまとめたり、考察したりする。また、実習を行うこともある。

2　学習の到達目標

・看護や疾病に関する基本的な知識を身につける。
・現代医療の現状を知ることで、課題に気づき、将来の自分たちの健やかな暮らしにつなげられるような想像力、思考力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人体に関する生物学的な知識も踏まえながら、各器官における表面的な病症だけでなく、細胞組織での異常に結びつけて疾病に関する知識を身につけている。 看護医療に関する視聴覚教材、諸資料から有用な情報を読み取り、レポート等にまとめることがでいる。	疾病の成り立ちや回復の過程において、看護での基本「なぜ」を念頭に表現している。	現代医療の現場に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	疾病の成り立ち	・病理学とは ・病気の原因	a：医療における病理学の意義について正確な知識を身につけている。 b：自分なりの「健康」について考察し、表現している。 c：病理学や病気の原因に関する知識を高めようとしている。	小テスト 定期考査	レポート 定期考査	レポート
		病気の起こる部位と変化	a：細胞レベルでの病態について正確な知識を身につけている。 b：具体的な症例から現状を知り、見えてきた課題について的確に表現している。 c：病気に関して、細胞レベルでどのような変化が起こっているか意欲的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	レポート 定期考査	レポート
	回復の過程	・疾病や障害の経過 ・回復の促進と治療 ・ターミナルケア	a：回復の過程について正確な知識を身につけている。 b：具体的な症例から現状を知り、見えてきた課題について的確に表現している。 c：：回復に影響を及ぼす因子や回復のかたちに関して意欲的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	レポート 定期考査	レポート
後期	系統別疾患	・疾患の系統的理解 ・各疾患の病態と治療	a：各疾患への正確な知識を身につけている。 b：具体的な症例から現状を知り、見えてきた課題について的確に表現している。 c：各疾患に関して知識を深め、さらに意欲的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	レポート 定期考査	レポート
		・各疾患の病態と治療	a：各疾患への正確な知識を身につけている。 b：具体的な症例から現状を知り、見えてきた課題について的確に表現している。 c：各疾患に関して知識を深め、さらに意欲的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	レポート 定期考査	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度